

どりょく



一般社団法人 石川県地質調査業協会

「土に夢と希望を抱いて」

夢をもつてチャレンジしませんか。
未来の安全を支える仕事に

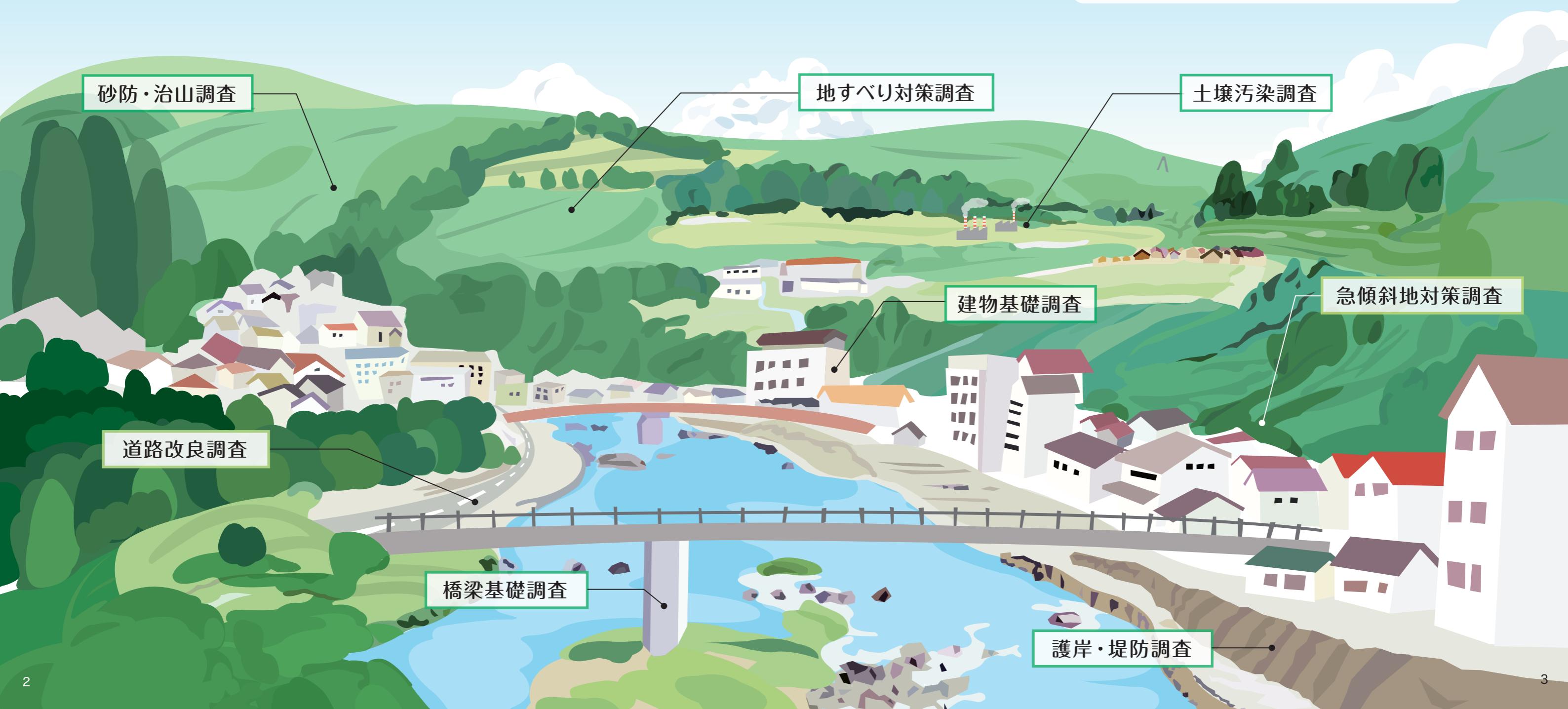


安心な暮らしを支える地質調査

地質調査を行うことによって、地上から見ただけでは分からぬ
その土地の地盤の特徴や、地中の特徴を知ることができます。
調査からわかった土地の特徴にあわせて、地盤の補強を行うこともあります。
宅地造成もその1つです。
その他、山崩れや地すべりを防ぐためや、
ダム、トンネルなどの建設のために地質調査は行われ、
私たちの安全な暮らしを、見えないところで支えています。

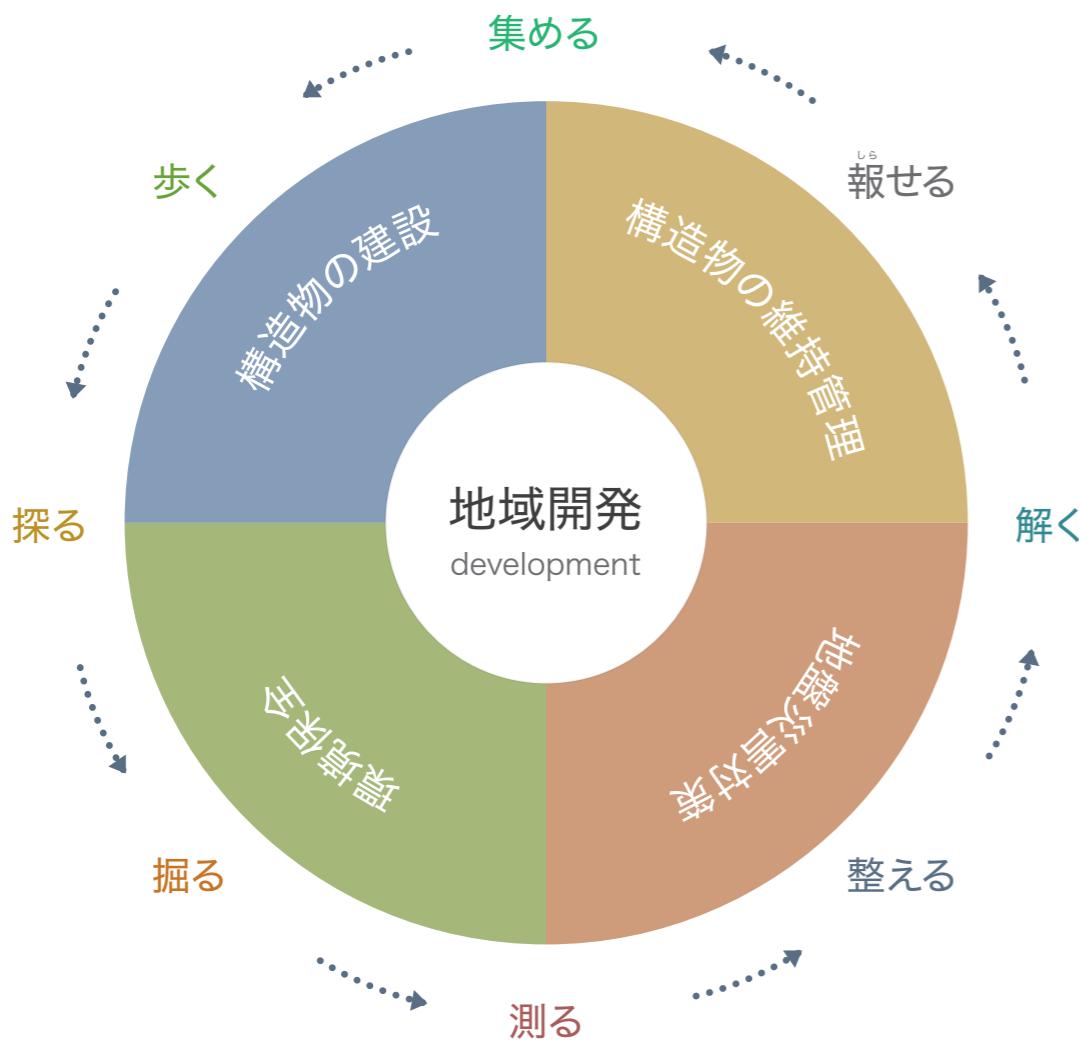
目次

暮らしを支える地質調査 Specifications List	2
地質調査の仕事 Work of the geological survey	4
地質人 Geological people	8
会員企業紹介 Member companies	18



地質調査は、あらゆる建設事業の土台となり、地域の安全を支える仕事です。

現地での調査・計測・試験では地層構成がわかり、現地や室内で行う試験では工学的特性がわかります。また、地すべりや斜面崩壊・土石流といった災害の調査では危険箇所を見つけ、その活動を調査・観測することによって、その土地が安全かどうか、これからずっと安心して暮らせるかどうかを調べます。こうした結果を総合的に判断して問題があれば、対策を提案します。



集める

文献・資料調査

実際の地質調査を始める前に、調査地域周辺の地形図、地質図、地盤図、空中写真等の地図・写真類及び調査報告書、工事記録、災害記録、地質文献などの既存の資料を集め、広域的・総合的な地盤状況を把握し、調査の効率的な実施と解析・判定を行う際の参考資料とします。

歩く

踏査・周辺調査

実際の地質調査の第一歩は、文字どおり歩くことです。調査地域の地質・土質・地盤等の概要を把握するため、知識と経験のある専門の技術者が、クリノメーターやハンマーを持ち、地形、露頭、転石などを観察・計測し、ルートマップを作り、最終的には当該調査地域の地質図を作成します。



探る

物理探査・電気探査など

物理探査と呼ばれる弾性波探査や電気探査などの手法で、地震波や非抵抗を利用して、地表面から地下の地質構造を探ります。最近では、電磁波、音波などを利用した探査法も多用されるようになり、また、非破壊で調査できることから、遺跡などの調査にも応用されるようになっています。さらにこの物理探査の手法の応用技術として、地下の物性値の分布を_{2次元断面像}に画像化する「ジオトモグラフィー」と呼ばれる手法が実用段階に入っています。



掘る

ボーリング

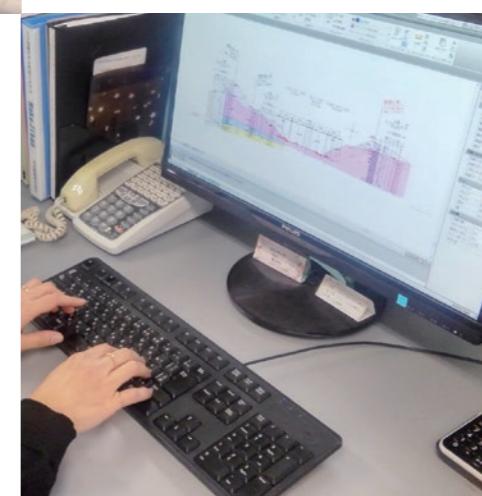
地質調査は、主として地中の不可視部分を対象としています。このため、最も直接的で有力な調査方法はボーリングです。これは、実際に地盤を掘る作業であり、地中の情報をダイレクトに入手でき、土質試料や岩盤のコアとして観察する他、それを用いて土質試験や岩石試験を行なうことができます。また、ボーリング孔は、孔内水平載荷試験や現場透水試験等の孔内計測や物理検層にも利用されます。



測る

サウンディング・土質試験など

地質調査では、原位置において各種の計測機器を用い、地盤の物理的・力学的な性質を測ります。この原位置試験には、ボーリング孔を利用した試験・計測、サウンディング、他の試験・計測があり、調査目的により適宜組み合わせて実施されます。また、地質調査には、現地で採取した試料を、試験室に持ち込み、土質試験・岩石試験を行い、その性質を明らかにする仕事があります。



整える

土質柱状図や地質断面図等の作成

既存試料の検討・現地での調査・計測、室内試験が終了すると、これらの調査結果を整理し、個々のデータの評価や整合性の検討を行います。その結果に基づき、土質・地質柱状図や土質・地質断面図等の図面類を作成します。

解く

解析・判定・評価

すべてのデータが整理・分析された後、調査目的に応じた解析・判定を行います。その主な内容は、地層及び土性的判定、土質及び地盤定数の決定、対象構造物に対する調査結果の検討、設計・施工に対する助言などで、必要によっては、より高次の解析が行われます。

地質調査の仕事



文献・資料調査

土地に眠る歴史を探求し、
地盤状況を理解する。

実際の地質調査を始める前に、調査計画を立案したり、広域的・総合的な地盤状況を理解するために、文献・資料について調査します。調査地域周辺の地形図、地質図、地盤図、空中写真等の地図・写真類及び調査報告書、工事記録、災害記録、地質文献などの既存の資料を集め、広域的・総合的な地盤状況を把握し、調査の効率的な実施と解析・判定を行う際の参考資料とします。

・既存資料の収集



現地調査

地表を歩き、地下を探り、
地盤の性質や特徴を知る。

調査地域の地質・土質・地盤等の概要を把握するために行う最も重要な調査です。当該調査地域の地質図を作成し、地震波や非抵抗、電磁波、音波などを利用して、地表面から地下の地質構造を探ります。また、実際に地盤を掘るボーリング作業を行い、土質試料や岩盤のコアとして観察するほか、それを用いて土質試験や岩石試験を行うなど、地盤の物理的・力学的な性質を測ります。

・地表踏査 ・物理探査 ・ボーリング ・試掘抗
・サウンディング ・現位置試験 ・物理検層
・動態観測 など



分析

採取した試料をもとに
土の性質を明らかにする。

現地で採取した試料を試験室に持ち込み、物理試験・力学試験・化学試験によって、その性質を明らかにします。また、調査結果を整理し、個々のデータの評価や整合性の検討を行います。その結果に基づいて土質・地質柱状図や土質・地質断面図等の図面類を作成します。

・物理試験 ・力学試験 ・化学試験



解析・評価

地盤の問題点を明らかにし、
その対策について検討する。

すべてのデータが整理・分析された後、個々の調査の結果をまとめると同時に総合的に判断して、地盤性状から見た建設工事の問題点を明らかにし、その対策について検討します。また、対象構造物に対する調査結果の検討、設計・施工に対する助言などで、必要によってはより高次の解析が行われます。

・地層構成のモデル化 ・物性値のモデル化
・設計、施工上の問題点の抽出及びその対策の検討

地質人の皆さんに聞きました。
「あなたのモットーを教えてください。」

ひとりひとりがスペシャリスト。
専門知識や技術を生かし、
誇りを持って働く地質人たちです。

地質人

GEOLOGICAL PEOPLE

地質人に質問！ Q & A

- 01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは？
- 02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは？
- 03 地質に関わる仕事の中で、一番大切なことは？
- 04 この仕事のやりがいは？



01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 大学では土木で構造を専攻していたのですが、入社後に地盤の部署に配属されたことがきっかけで、地質に関わるようになりました。土木の基礎となる地質の仕事を通して知識を増やし、今後に役立てるよう取り組んでいます。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. 就職する以前は、自分が地質に関係する仕事に就くとは想像もしていませんでした。実際に仕事をするようになってからは、自然相手にやる土木では絶対に関係していくことなので、この仕事をしている以上必要不可欠だと感じました。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切なことは?

A. 見えないものをイメージする力だと思います。提供する情報が不十分であると大きな問題が生じてしまう可能性がある分、見えない地中の状況を確実に把握できるかどうかが重要になってくると思います。そのため、知識や経験といった十分な裏付けの元で、調査データから見えない地中の状態をしっかりと想像できる能力が必要だと考えています。

04 この仕事のやりがいは?

A. 地盤の部署に配属されてからはまだ期間が短いため、地質の仕事経験がさほどないこともあります。現時点ではこの仕事のやりがいは何なのか自分でもはっきりと掴み切れていません。新しい仕事、知識を得ること自体はやりがいに思うのではなく、はっきりと答えられるようになるまで、今は技術力を高めながら経験を積んで行きたいです。

楽しく、楽に。

01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 学生時代にこのような仕事があることすら分からず、地質に関わる仕事にこだわりはありませんでした。それまでは地質に興味もなかったです。しかし、なぜかこの仕事をしています。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. 地質調査業とはまったく分からぬ状態でしたが、最近少しだけ重要な仕事であることが分かりました。土を扱う仕事なので、きつい、よがれなどマイナスイメージですが、これも必要なことなのでがんばろうと思います。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切なことは?

A. 地面の下のことなので、見た目ではまったく分かりません。そんな地質を調査することによって、正確な地盤の情報を伝えるだけだと思います。

04 この仕事のやりがいは?

A. 入社後、いくつかの現場を経験し、こんな所で調査して何になるのか?なんて思っていたが、調査した場所に建物が出来ているのを見ると少し嬉しいです。

01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. きっかけというよりも、現場作業での技術の深さだったり自然の中での作業、地質の歴史に触れていくうちに楽しくなり自分に合っていると思いました。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. 自分が想像していたよりも技術は深く、ただ地面を調べるだけでなく目的に応じて調査は明確にされていてより一層地質調査業の重要性を感じ、その仕事に携わるという事が責任感も感じました。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切なことは?

A. 「プロフェッショナル」という事を常に意識しています。それは技術の探求や高品質な成果品をあげること、地質に関する知識を深める事など、プロとして自分の仕事に責任を持つという事は一番大切だと思います。

04 この仕事のやりがいは?

A. 正解を見つけること。日々勉強とも言いますが、自分が今正しいと思っていることがいろいろな人とのコミュニケーションや技術の伝達により新しくなるという事。例えば1つの地層に対して人により見解が違ったり、同じ目的に対し道が複数あり最終的に交わったりと理屈はあってもそれまでの過程の違いがある。そういう所にものすごくやりがいを感じます。

01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 地質に関わる仕事に対して特にこだわりはありませんでしたが、学校の先生の紹介でカナイワに入社し、現在に至ります。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. 学生の頃は「地質調査業」に対して特別な印象や想いなどなく、私にとっては遠い存在でしたが、現在は建物の不同沈下や自然災害など、日常生活に直結した必要不可欠な仕事であると感じています。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切なことは?

A. 目に見えにくい部分の仕事だからこそ、必要な情報を正確に解りやすく伝え、それに伴う適切な提案をする事が最も大切だと考えています。

04 この仕事のやりがいは?

A. どんな仕事においても言える事かもしれません、いろいろな仕事をしていく上で得られる知識や経験により、自分自身が成長していく事にやりがいを感じています。



CHISHITSU JIN DATA

アルスコンサルタンツ株式会社

技術1部

津幡 亮佑 Ryosuke Tsubata

地質人歴:5年

主な仕事内容:地質調査



CHISHITSU JIN DATA

株式会社石川地質コンサルタンツ

技術部

川島 隼也 Junya Kawashima

地質人歴:2年

主な仕事内容:地質調査



CHISHITSU JIN DATA

株式会社エオネックス

地図環境部

浜田 莉央 Rio Hamada

地質人歴:7年

主な仕事内容:調査ボーリング



CHISHITSU JIN DATA

株式会社カナイワ

地盤改良部

葉佐 真琴 Makoto Hasa

地質人歴:19年

主な仕事内容:地盤調査、地盤改良

01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 土に関する会社の者として、営業・工事など何をするにも地質がわからないといけない、ということで、最初は色々な業務への足がかりとして始めました。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. こんなにパソコンや本と向き合う仕事とは思っていませんでした。今では、地質や地形に対する知識・経験のほか、文章能力やプレゼン能力などを必要とする、高度で重要な仕事だと思っています。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切なことは?

A. 調査の目的について理解し、求められる情報を高い精度で提供すること。また不足な情報や、あるとベターな試験などについても地質のプロとして提案し、発注者や設計者から信頼される仕事を目指すことが大切だと思います。

04 この仕事のやりがいは?

A. 色んな現場を経験することで「あの現場はこうだったな」「こういう地質はこうだな」という知識が蓄積し、それが次の現場に生きた時に喜びを感じます。日々の業務や諸先輩方から学び、自分の力にしていくことがやりがいです。

01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 学校の就職募集にありました、特殊な業種だと思い、興味があったので入社試験を受けました。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. とにかく汚れる仕事だと思いました。泥水がかかるのが仕事みたいなもので、それは今でもあまり変わりません。また、山奥や斜面、道が無く車が入って行けない箇所などが多く、ボーリングマシン等の運搬にとても体力がいる仕事だと思いました。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切なことは?

A. 調査ボーリングにおいては、同じ地層の箇所は無く、毎回違う地層での作業となるので経験が必要であり、失敗を重ねることにいろんな状況に対応していく事が出来てくると思う。また採取試料の品質により、室内試験にも影響するので調査目的に応え得る、コア採取、標準貫入試験が重要だと思います。

04 この仕事のやりがいは?

A. ボーリング調査を行った箇所に、建物や構造物が出来ているのを見ると少し嬉しいです。

01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 私は学生の時土木工学を専攻していましたので、土木関連の仕事に就職しようと考えて、縁あって中部地下開発(株)に入社しました。入社した当初は地学の知識が乏しかったので、地質調査の仕事についていくか不安でしたが、入社してから13年が経ち、上司や同僚から教わりながら仕事をこなしていくうちに地質調査の仕事がわかるようになってきました。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. 学生時代は授業で地質調査の現場へ行く機会が無かったので、実際にどのような場所でどのような内容の仕事をしているのか知りませんでした。地質調査業に就職してからは、市街地や大自然に囲まれた山地などの様々な現場を経験して、それぞれの現場が持っている地質的な特徴や問題点を見つけ出すことで社会へ貢献することが、地質調査の仕事なのだということが分かりました。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切なことは?

A. 私は主に地すべりや崩壊等の斜面防災の地質調査や設計に携わっていますが、地下の不可視な部分を解明し、危険を察知する地質調査の仕事は、現場をよく見ることが最も大切だと思います。現場の状況は複雑で、一度見ただけでは十分に理解できない場合が多いですが、わからない時は再度現場へ行って新たな情報を見つけていくことが、理解するための近道だと考えます。

04 この仕事のやりがいは?

A. 地質調査の仕事は探検のようなものだと思います。未知のフィールドである地下に対して、探検家になったような気持ちで探り、考え、迷いながら理解を深めていく過程に、私はこの仕事のやりがいを感じています。これからはもっと知識や経験を積み上げて、より確かな答えを導き出せるようになっていきたいです。

01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 学生時代の先生の薦めで、この業界に入りました。正直やってみたい事や興味があったわけではなく、学生時代に室内試験を見学したくらいでした。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. 就職前は室内試験ばかりの地味な作業だと思っていました。しかし、実際働いてみると現場に出ることや他業種と関わることも多く、土木工事を進めていく上で、想像していた以上に重要な仕事だと感じました。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切なことは?

A. 人と同じで、土にも色々な特徴や性質があります。その全てを良く理解していく事で、今までとは違う答えや発見が見つかるのだと思います。そのため何事にも興味を持つことが大切だと思います。

04 この仕事のやりがいは?

A. いかなる構造物や土木工事においても必ず地質調査や室内試験は必要不可欠であり、いかなる場合でも最善の対応策を提案することの重要性、そして私たちの調査結果があつたからこそ設計や施工が進んでいくという過程にやりがいを感じています。しかし、自然地盤を相手としていますので、毎回同じ結果とならず悩むことが多いです。そこに「面白み」を持って対応しています。



01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 私がこの業界に入ったのは30歳を過ぎてからでした。それまで学んだ分野や経験してきた職種とは全くの畠違いであり、地質調査業といわれてもよく分からない、そんな具合でした。ただ、もともと生まれ育ったこの地で自然を相手に汗をかきながら、自分を高められるような仕事に従事したいと考えていましたので、そんな機会に巡り会えたことや今現在も従事できていることには感謝の気持ちです。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. 弊社入社時はの面保護工事をメインとした工事部に配属されました。当時は単純に地質調査の調査という部分にすごく憧れました。探偵みたいな～と。その後、調査部に配属され今現在、地質調査業に携わっております。豊富な経験や知識の中から1つの答えを導き出すという作業にはまだまだ苦労の連発ですが、いかなる時においても日頃からの継続的な向上心を忘れず真摯に取り組んでいこうと心掛けています。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切だと思うことは?

A. 地質調査は主に地中の不可視なるものを対象として行われます。その目的を十分に把握し、発注者が求める無体物である情報をその根拠を踏まえ的確に提供しなければならず、そのためには何をしなければいけないかを考え、理解し、行動する。その一つひとつが重要なことであり、全ての精度を高めていく事が建設コンサルタントであり専門プロ集団である私達に、大切なことだと考えています。

04 この仕事のやりがいは?

A. 大きな声では言えませんが、まだまだ道半端の私です。中々いいことばかりを書きましたが、何かに落ち込んだり、負けたり、挫折したりの連続です。でも今現在こうやって地質調査業に携わり、自分が行っている業務がより安全安心に暮らしていける街づくりであったり、自然災害に強い環境づくりであったりと少なからず子供達やこの先の未来へ繋がっている業務であると考え、やりがいを感じながら毎日汗をかいて取り組んでいます。

01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 大学で地学系の学科に所属しており、そこでは大地と水に関して様々なことを学びました。その時に、将来は大地と水を相手にもっと色々なこと学べたらいいなと思ったことがこの仕事をしようと思ったきっかけです。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. 実際に就職して仕事をし、地質調査は全ての基礎となっていることを理解し、また非常に難しい仕事であることを痛感しました。今は、正確なデータを出すことだけでなく、お客様にいかに分かりやすい、役に立つデータを提供することができるかが大切な仕事だと感じています。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切だと思うことは?

A. やはり何事にも挑戦することではないかと思います。地質は同じものはひとつなく、常に新しいことに挑戦していくことになります。その中で正確なデータを得るためにには、多くの経験が必要であると思います。その経験を培うためにも、何事にも臆せず挑戦することが大切だと思います。

04 この仕事のやりがいは?

A. やはり自分が調査した場所に構造物が建てられているのを見たときに「役に立ったんだなあ」と思ったとき、やりがいを感じます。また、苦労した仕事であればあるほど後には大きな達成感を感じることができます。

01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 小学校の理科の授業で、火山が噴火している映像を見て、地質の勉強がしたいと思ったのがきっかけです。大学で火山・岩石について学び、卒論・修論として能登半島西部の火山岩について研究しました。

北海技建㈱に就職したのは、そのフィールドに近い事もあります。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. 最初は、大学で学んだ地質調査の延長の様なものだと考えていましたが、実際に現場に入ってみると、地質の知識だけでは全然足りなく、土木・工学の視点も必要であると思いました。今更ですが、もっと大学で工学的な勉強もしておけば良かったと。少し後悔しています。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切だと思うことは?

A. ある現場監督に、『報告書というものは、地質や土木について全く知識が無い“素人”であっても、それを読んで理解出来るようなものではなくてはならない。』と教えていただいたことがあります。最初は、自分の知識だけで報告書を作っていたために、『これはどうしてこうなるの?』と質問されるばかりでした。結局、自分が知っている事を“当たり前”的として考えてしまっていたんです。それ以降は、地質を知らない人が読んで分かる様な報告書を作成する様に心がけています。自分が読んで分かる様な報告書を作成する様に心がけています。自分が読んで分かる様な報告書を作成する様に心がけています。自分が読んで分かる様な報告書を作成する様に心がけています。

04 この仕事のやりがいは?

A. 地質調査に限った事ではありませんが、私は“人の役に立った”と感じられた時に、一番やりがいを感じます。色々な現場に出向いて試験を行う事が多いですが、現場の条件も様々です。その現場に合った試験方法は何なのか。他に準備しておく試験は無いかと色々と考えます。現場から呼ばれている以上、その現場のニーズに答えられてこそ“役に立った”と言えると思います。多少大変な時もありますが、同じ現場監督に違う現場で呼ばれた時は、“人の役に立った”と感じ、嬉しいくなります。

01 地質に関わる仕事をしようと思ったきっかけは?

A. 立派な学歴がある訳でもなく専門的な知識がある訳でもなく、更に、特に何かしたい事があるわけでもなかった私は、地質と言えば難しい感じがするけど、要は土の性質じゃないかと軽く考え、幼少期に土いじりをした延長間隔で、この世界に入りました。

02 実際に就職してから、地質調査業の印象や仕事に対する想いなど変わったことは?

A. 実際、いろいろな業務を展開していくと、我々の居住空間においてのデータの重要性を理解すると同時にその奥深さをも理解してきました。しかし、私の様な者がこんなに重要で責任のある業務を行っても良いのかと不安に思える時期もありましたが、そんなことは言ってはいけない、地質についての知識や技術をしっかり身につけ、正確なデータを提供することが、私が出来る地域や世のための貢献と考え、日々の作業に励んでおります。

03 地質に関わる仕事の中で、一番大切だと思うことは?

A. 一言で土と言ってもその性質は、条件や活用方法によって大きく変わります。同じ人間でも十人十色と同様、土も千差万別です。専門的な知識も然ることながら、活用方法や使用条件をよく理解した上で試験の選定等、臨機応変に柔軟な考え方が必要かと思います。

04 この仕事のやりがいは?

A. この世界では、毎日の業務が全く同じになることはなく、常に新鮮で常に勉強かと思います。決してこれで頂点と言ふことはありません。そのため、日々の業務を確実に理解し自分の知識として経験を積み重ねていかなければならないと思います。そして後にその経験を活かし判断した結果が的確であったと認識出来た時は自分なりにとても満足出来る瞬間です。



アルスコンサルタンツ株式会社

【本社】〒921-8116 石川県金沢市古府2-76 【技術センター】〒921-8805 野々市市稻荷2-277
TEL:076-248-4004 FAX:076-248-4174 E-mail:ars@ars-c.co.jp URL:<http://www.ars-c.co.jp/>



代表取締役
瀧上 彰

私たちには常に、人と環境のあり方を問い合わせています。

今、シビルエンジニアリングに求められているのは、「発展と環境保全の相互追求」の概念。安全性や機能性をより高めながら、自然への思いやりにあふれた空間づくりを目指していくことです。私たちアルスコンサルタンツは、調査・計画・設計・施工監理から自然生態系の予測までのコンサルティング企業。人と環境の調和を築くスペシャリストとして、幅広く活躍しています。



会社概要

- 資本金
3,000万円
- 設立年月日
昭和47年11月
- 支店・営業所
福井支店／白山営業所
- 許可登録指定
建設コンサルタント業
(道路/土質及び基礎/トンネル/
都市計画及び地方計画/鋼構造及び
コンクリート/河川、砂防及び海岸・
海洋/森林土木/造園/建設環境)
国土交通大臣登録
- ・地質調査業
国土交通大臣登録
- ・測量業
国土交通大臣登録
- ・建設業
石川県知事許可(一般建設業)
とび・土工事業、
さく井工事業
- ・ISO 9001:2015 認証取得
- ・エコアクション21 認証取得

業務内容

- 社会資本整備
道路計画及び設計、橋梁設計、トンネル調査・設計、上下水道設計及び消雪設計、土木構造物等設計、補修補強設計、施工管理 PPP/PFIマネジメント業務
- 防災計画
地すべり防止対策調査、軟弱地盤対策調査、ガケ地法崩壊対策調査、宅地診断、河川砂防計画、水理計画及び河川構造物、各種点検・コンクリート診断、長寿命化計画、地質調査
- 環境計画
都市計画及び地域振興計画、都市公園及び自然公園設計、緑化計画、日本庭園設計、宅地造成設計、サイン計画、開発行為申請
- 環境保全
環境アセスメント、自然環境調査、生活環境調査、環境保全計画、水文・水質調査、産業廃棄物処理計画、ビオトープ計画

株式会社エオネックス

〒920-0209 石川県金沢市東蚊爪町1-19-4 TEL:076-238-1181 FAX:076-238-9781
E-mail:info@chika.co.jp URL:<http://www.chika.co.jp/>



代表取締役社長
北田 展之

どこにもない、独自性を持った、社会から
求められる“オンリーワン”企業を目指します。

当社は約半世紀に渡り、地球の環境や地下地質の調査、地下資源の開発や有効利用に取り組んできました。21世紀は環境と保全の時代と言われています。今からの社会基盤の構築や地下資源の開発等は、自然との共生を重視しながら進んでいかなければなりません。当社は、この素晴らしい自然をいつまでも残しながら、自然と共生できる社会づくりを考え、輝ける未来をお客さまと創造していきたいと考えます。



- 災害調査、活断層調査、地震防災調査
- 水利用
地下水調査、治水対策調査・設計、河川流量観測、流出解析、地下水利用計画策定 さく井工事、地下水設備工事及びメンテナンス
- 温泉
温泉利用構想・開発計画の策定、温泉調査、温泉掘削工事、温泉設備工事、温泉メンテナンス業務、温泉井修繕工事・省エネ工事
- 情報地質
地質情報管理システム、GISによる地質情報システム、三次元地質解析
- 地盤地質
地盤沈下調査・解析、広域地下水管理計画、土壤・地下水汚染調査・解析、地下水障害調査、環境アセスメント
- 環境分析
水質・底質調査、大気質調査、騒音・振動調査、作業環境調査、動植物調査、土壤調査、放射線調査、廃棄物調査、アスベスト調査・分析

株式会社石川地質コンサルタンツ

〒920-0059 石川県金沢市示野町西3番地 TEL:076-213-8151 FAX:076-213-8153
E-mail:igc-kaga@ark.ocn.ne.jp URL:<https://www.igc-pro.com/>



代表取締役
数左 従光

技術の向上こそ
会社の前進 和
人の和こそ
会社の宝 挑戦する勇気こそ
会社の力



会社概要

- 資本金
2,000万円
- 設立
平成10年6月
- 営業所
南加賀事業本部／能登営業所
- 許可登録指定
・国土交通大臣登録 地質調査業
・国土交通大臣登録 建設コンサルタンツ
・石川県知事許可 建設業 とび・土工、さく井工事

業務内容

- 地質調査
地質・土質調査、地滑り調査、地下水調査、土質・岩石調査、各種原位置試験、各種観測・計測・解析、各種物理探査
- 建設コンサルタント
基礎工の設計、軟弱地盤対策工の設計、地すべり対策工の設計、道路設計、消雪設備設計、施工管理、環境
- 測量
一般測量
- 工事
さく井工事、地すべり防止対策工事、方面保護工事、アンカーワーク、地盤改良工事、一般土木工事

株式会社カナイワ

【本社】〒921-8027 石川県金沢市神田2-9-19 【事業本部】〒924-0028 石川県白山市相川新町728
TEL:076-244-6447 FAX:076-244-6407 E-mail:kanaiwa@kanaiwa.co.jp URL:<http://www.kanaiwa.co.jp/>



代表取締役
普輪崎 賢彦

大地を知り、未来を築く

株式会社カナイワの創業は大正12年。以来、一貫して地下水の開発・供給を通じ生活者の立場に立って、事業展開に努めてまいりました。最近の技術は、より高度化・複合化しています。当社は、お客様のあらゆるニーズにお応えするために、社員一同が、さらなる技術研鑽と努力に励んでおります。



会社概要

- 資本金
3,190万円
- 設立
昭和36年4月
- 許可登録指定
・建設業(さく井工事業、土木工事業、
とび・土工事業、水道施設工事業、管工事業)
石川県知事許可
- ・建設コンサルタント(土質及び基礎部門)
国土交通大臣登録
- ・地質調査業
国土交通大臣登録

業務内容

- 測量・調査
地質調査・土質調査・地下水調査・土壤汚染調査他
- 建設コンサルタント
地下水・環境・沈下変形・斜面安定他
- 工事
軟弱地盤対策工・さく井・各種地下水対策工・各種斜面安定工・土壤汚染対策工・
地下水処理プラント・水質環境浄化

興信工業株式会社

〒927-0624 石川県鳳珠郡能登町字時長45-65 TEL:0768-72-1223 FAX:0768-72-1224
E-mail:honsha@kousin.co.jp(本社) Email:sisha@kousin.co.jp(支社)



代表取締役
室谷 信子

“Better”な世界を目指して、環境と調和した豊な社会づくりに貢献していきます。

当社は能登半島の先端、能登地区において昭和41年に地質調査・地すべり対策工事等の調査と特殊土木工事を専門とした会社として設立。自社で調査・設計・施工の可能な専門工事会社として、公共事業を主体とした営業を展開しています。
土木・建築構造物の基礎地盤として、あるいは地盤災害を起こすなど、様々な顔を見せる大地を相手に、環境と調和したより良いものをを目指して取り組みを続けています。



会社概要

- 資本金 2,000万円
- 設立 昭和41年2月
- 営業所 金沢支社
- 許可登録指定
 - ・国土交通大臣登録 地質調査業、建設コンサルタント(地質)
 - ・石川県知事許可(特定) 土木一式工事、とび・土工・コンクリート
 - ・石川県知事許可(一般) 造園、さく井
 - ・ISO9001:2008認証取得
 - ・ISO14001:2004認証取得

業務内容

- 地質調査 地質・土質調査、地すべり調査、地下水調査、物理探査、各種原位置試験、土質・岩石試験、各種計測・観測
- 建設コンサルタント 地すべり対策工、斜面対策工、軟弱地盤対策工、土留め工、各種基礎工、地下水解析、土壤汚染対策工
- 工事関連 集排水ボーリング工、集水井工、アンカーワーク、鉄筋挿入工、大口径杭打ち工、さく井工、ダムグラウト工、各種注入工、土壤汚染対策工、法面保護工、法面補強工、落石対策工、小口径推進工

国際地研株式会社

〒920-0017 石川県金沢市諸江町下丁428
TEL:076-237-5758 FAX:076-237-4356 E-mail:kokusai@po2.nsknet.or.jp



代表取締役
松村 徹

大地と自然の調和を考える…

当社はこれまで培ってきた技術力、人と自然との対話を重視して、アイデンティティーをもつ企業を目指しています。また、「地球にやさしく、自然にやさしく、環境にやさしく」をモットーにして魅力あふれる、住み良い街づくりに貢献できるように社員一同がんばっています。



会社概要

- 資本金 1,000万円
- 設立 昭和50年9月
- 許可登録指定
 - ・国土交通大臣登録 地質調査業
 - ・国土交通大臣登録 測量業
 - ・石川県知事許可 特定建設業
とび・土工・コンクリート工事
さく井工事

業務内容

- 地質調査
- 整井
- 温泉掘削
- 地すべり対策工事

中部地下開発株式会社

【本社】〒920-0205 石川県金沢市大浦町ハ51-1 TEL:076-237-5000 FAX:076-237-0600
E-mail:info@chubuchika.jp URL:<http://www.chubuchika.jp/>



代表取締役社長
渡部 友則

最新の設備と技術により、自然との調和の中で人と地球に優しい環境づくりを目指します。
環境をコンサルティング。
森の声、大地の音、自然のメッセージに耳を澄ませ、確かな技術、豊富な調査データから安全をクリエイトしています。
自然にやさしい生活環境づくりが私たちの使命です。



会社概要

- 資本金 2,000万円
- 設立 昭和41年3月
- 営業所 福井営業所／白山営業所
- 許可登録指定
 - ・建設コンサルタント 国土交通大臣登録
 - ・地質調査業 国土交通大臣登録
 - ・測量業 国土交通大臣登録
 - ・建設業 国土交通大臣許可
(特定)とび・土工工事、
さく井工事、土木工事、水道施設工事

業務内容

- 調査部門 地質調査、地下水調査、地すべり調査、森林・植生・環境調査、土質試験、岩石試験
- 設計部門 地すべり対策、斜面防災対策、河川・海岸等の防災対策、森林整備計画、路網計画、森林環境保全対策
- 工事部門 さく井工事、各種ボーリング工事、集水井工事、抑止杭工事、アンカーワーク、法面工事

中部地質株式会社

〒921-8061 石川県金沢市森戸1丁目228番地 TEL:076-240-7887 FAX:076-240-7757
E-mail: info@geo-chubu.jp URL: <http://www.geo-chubu.jp/>



代表取締役
能島 利一

自然の営みを情報として
With

私たちの基本は「土」です。
私たちは「土」を愛しています。
私たちは「土」と共に生きています。
私たちは「土」のメッセンジャーです。



会社概要

- 資本金 2,500万円
- 設立 昭和52年12月
- 営業所 富山支店／福井営業所／新潟営業所
- 許可登録指定
 - ・建設コンサルタント 国土交通大臣登録
 - ・地質調査業 国土交通大臣登録
 - ・測量業 国土交通大臣登録
 - ・とび・土工・さく井工事業 石川県知事許可
 - ・土壤汚染状況調査等指定調査機関
 - ISO認証登録 ISO9001 2000年6月29日認証取得

業務内容

- 建設コンサルタント 基礎工の設計、軟弱地盤対策工の設計、斜面防災構造物の設計、地盤の有限要素法解析、地盤改良の設計
- 工事関連事業 水抜きボーリング、地すべり対策工事、温泉さく井工事、各種さく井工事
- 測量・計測 地上測量全般、空中写真測量、軟弱地盤の動態観測、振動・騒音測定、地すべり・のり面・斜面観測、路面性状調査、トンネル断面計測

古一地下開発株式会社

【本社】〒926-0044 石川県七尾市相生町40 TEL:0767-52-4467 FAX:0767-52-4704
E-mail:office@huruichi.com URL:<http://www.huruichi.com/>
【企業本部】〒926-0831 石川県七尾市池崎町む70番地1 TEL:0767-57-3700 FAX:0767-57-2600



自然を守り、明日の大地に水と緑のふるさとを築く。

当社は、昭和52年1月に創業以来、地質調査及び地すべり防止対策工事の会社として事業を展開し、さらに法面保護工事部門を加え、豊かな水と緑のふるさとを築くため、社員一丸となって目標に向かって取り組んでいます。また、中能登における地質調査のパイオニアとしての責任を果たすべく、日夜技術の研鑽に努め、地域に貢献できる会社を目指しています。

代表取締役

古一力

会社概要

- 資本金 2,000万円
- 設立 昭和52年1月
- 営業所 金沢営業所
- 許可登録指定
 - ・国土交通大臣登録 建設コンサルタント(地質部門)
 - ・国土交通大臣登録 地質調査業
 - ・石川県知事許可 (一般建設業)土木一式工事 (一般建設業)とび・土工工事 (一般建設業)さく井工事
 - ・ISO9001:2000 認証取得

業務内容

- 地質調査 地質・土質調査、地下水調査、地すべり調査、物理探査、土質・岩石試験、各種原位置試験
- 建設コンサルタント 地すべり防止対策工、切土・盛土の安定工法、軟弱地盤対策工法、土留・山留工法、地震応答解析、有効応力解析
- 地すべり防止対策工事 集排水ボーリング工、集水井工、抑止杭打工
- 法面保護工事 法面緑化工、現場打法枠工、落石防止網工、アンカーアー工
- さく井工事 さく井工、井戸改修工、ポンプ据付工
- 一般土木工事



北海技建株式会社

〒925-0014 石川県羽咋市釜屋町ノ44-2 TEL:0767-22-6618 FAX:0767-22-6268
E-mail:hokukai@nsknet.or.jp <http://www.nsknet.or.jp/~hokukai/>



代表取締役社長
高木仁志

大地のお医者さん。土を診断し、大地にメスを入れる。
わたしは能登のジオ・ドクター。

住宅、ビル、ダム、橋などすべてその地盤に支配されます。その強さや問題点を診断し指導する専門技術者団体が私たちの会社です。技術が命の会社ですから「当社の財産は人材」といえます。この人材が会社を育成し、お客様の高い信頼を得ることができます。



会社概要

- 資本金 1,200万円
- 設立 昭和55年5月
- 許可登録指定
 - ・地質調査業 国土交通大臣登録 第2008号
 - ・建設コンサルタント 国土交通大臣登録 第4920号
 - ・測量業 国土交通大臣登録 第25855号
 - ・とび・土工・さく井工事 石川県知事許可 第006969号
 - ・NPO住宅地盤品質協会正社員 第518号

業務内容

- 地質調査 地質・土質調査、地下水調査、地すべり調査、物理探査、土質・岩石試験、各種原位置試験・観測
- 土壌汚染調査 土壌・地下水汚染状況調査、調査・分析・解析・修復・モニタリング
- 工事 地すべり防止工事、さく井工事、アンカーアー工事、法面保護工事、地盤改良工事、温泉試掘工事
- 測量・設計・管理 一般地形測量全般、地盤の動態観測、道路舗装設計、地すべり防止対策工法、切土・盛土の安定工法、軟弱地盤対策工法、道路・ダム等の品質管理

株式会社ホクコク地水

〒921-8021 石川県金沢市御影町25番1号 TEL:076-241-7158 FAX:076-243-2422
E-mail:khce@hokukoku.co.jp URL:<http://www.hokukoku.co.jp>



調査・解析・設計・施工

大地と水の総合コンサルタント

土を、水を通して、よりトータルに地域の発展に貢献します。

当社は土と水をメインとした総合建設andコンサルタント会社です。私達の仕事の成果品は高層ビルや橋・ダム等のように目で見えるようなものではありません。しかし、学校で専門知識を学び、本当に土木・地質が好きで技術者・施工管理者を目指して頑張れる人を求めています。当社は特に人材育成に力を入れており、毎月1回の技術研修会や中堅社員研修等を行っており、多くの資格試験に合格しています。



会社概要

- 資本金 3,700万円
- 設立 昭和31年12月
- 営業所 福井営業所・富山営業所・白山営業所・七尾営業所・穴水営業所
- 許可登録指定
 - ・地質調査業 国土交通大臣登録
 - ・建設コンサルタント 国土交通大臣登録
 - ・測量業 国土交通大臣登録
 - ・建設業 国土交通大臣許可
 - (特定建設業) 土木一式工事、とび・土工・コンクリート、電気、管、造園、さく井、水道施設
 - (一般建設業) 機械器具設置
 - ・土壤汚染調査指定機関(環境大臣指定 環2003-1-712)
 - ・産業廃棄物収集運搬業(石川県、富山県、福井県)
 - ・古物営業

業務内容

- コンサルタント部門 橋梁基礎工、トンネルダム基礎工、水門・管路地下構造物基礎工、軟弱地盤対策工、盛土・切土工、土留工、斜面崩壊防止工、地すべり対策工、水文調査、斜面防災点検、水源調査、土壤汚染状況調査
- 施工部門 アンカーアー工事、集排水ボーリング工事、斜面安定化工事、法面保護工事、抑止杭工事、集水井工事、P Cフレーム工事、融雪施設設計・工事、取水井戸工事、ディープウェル工事、温泉掘削工事、井戸関連施設メンテナンスサービス、ポンプ設備工事
- その他 産業廃棄物収集運搬業・古物営業(機械工具類)

宮下建設株式会社

〒927-2151 石川県輪島市門前町走出3-50
TEL:0768-42-1138 FAX:0768-42-1344 E-mail:miyasita@ca1.wannet.jp



代表取締役
山下勇人

地域社会との融和を図り、さらなる技術の向上と健全なる労働環境の構築をめざす。

大正9年の創業以来、建設業、製材業、運送業、生コン製造など事業を拡大し、昭和36年法人化し、昭和50年建設業と他の部門を分離、各々独立。平成13年10月にISO9001認証取得し、総合建設業として現在に至る。



会社概要

- 資本金 2,000万円
- 設立 昭和36年11月
- 営業所 金沢営業所／能登営業所／穴水営業所
- 関連グループ 宮下運輸(株)
- 許可登録指定
 - ・石川県知事許可
 - (特定建設業)土木一式工事、建築一式工事、とび・土工・コンクリート工事、石工事、舗装工事、しゅんせつ工事、造園工事、水道施設工事、鋼構造物工事
 - (一般建設業)管工事、さく井工事

業務内容

土木工事、建築工事、港湾工事、舗装工事、造園工事、水道工事、ボーリング工事、その他関連事業を営業。

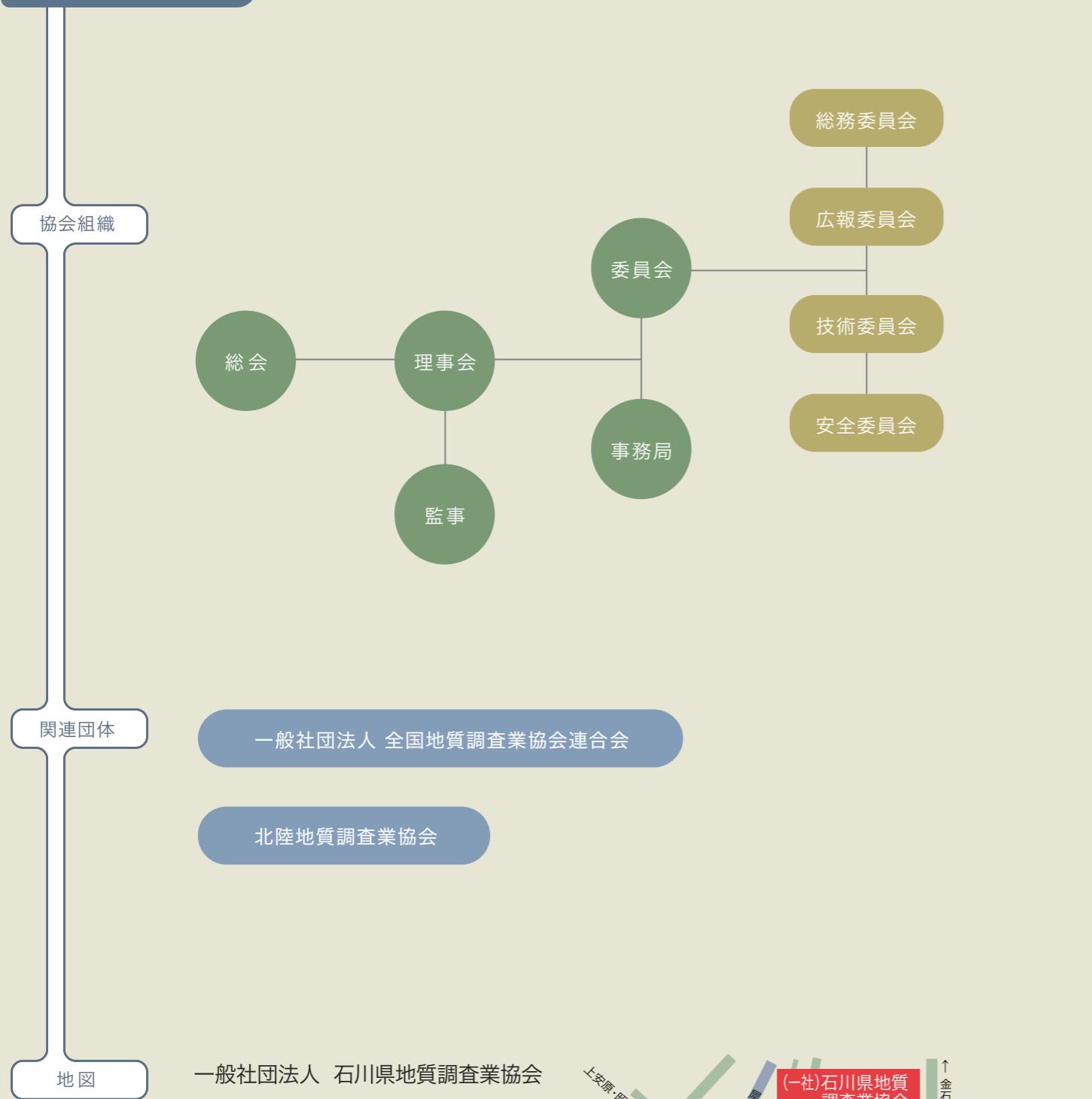


photo: Yasuhiro Shimoka / directed by Masaru Hashida

「土に夢と希望を抱いて」

時間の経つのも忘れて遊んだ、小さな砂場。

テレビゲームのなかった放課後、なんとなしに集まる小さな公園で誰より高い山を、遠くまで水を運ぶ川を、向こう側の見えるトンネルを、泥だらけになれてつく。またの頃

かたちを留めておけないものに夢中になっていた自分を思い出すと大切な何かを思い出せる気がする。

そんな思いを大切に 石川県地質調査業協会は明日へ向かっています



石川県地質調査業協会のマークは、いくつもの地層からできている地球が未来に向かって光を放っていることをイメージし、地盤を調べることで暮らしの安全のために未来に向かって進む団体を表しています。



www.ishikawa-geo.or.jp



一般社団法人 石川県地質調査業協会

〒920-0059 石川県金沢市示野町西 7 番地 TEL 076-267-3244

2019年9月 改訂